

公開  
討論会  
10/10開催

山中たい子さん 第1優先政策に 「原発ゼロ」「除染と健康調査」を公約

党派をこえ「原発ゼロ」「増税ノー」の市長実現を



つくば市政をよくする会  
山中たい子  
日本共産党 推薦

プロフィール：1951年福島県小野町に3女として生まれる。福島県立田村高校、陸上部。日本大学Ⅱ部法学部新聞学科卒。千葉県商工団体連合会勤務、新日本婦人の会・母親運動に参加。1984年桜村議に初当選。つくば市議4期。茨城県議2期。まつぼっくり保育園後援会長。つくば市政をよくする会代表委員。倉掛在住。夫、義母。

《《《 新しいつくば市政 》》》

3 地域経済の活性化  
安定した雇用と中小企業支援

「つくば市の経済活性化の具体策」がテーマに。給料が下がり、中小企業の倒産が相次ぐ一方、大企業の内部留保金は260兆円にも。お金が回らず経済成長が止まっています。山中さんは、「最低賃金の引き上げ」「正社員が当たり前の社会」「ポストドクターの正

職員化」「リフォーム助成制度の実施」「悉皆調査により農業、中小企業振興計画の作成」など、雇用の改善と中小企業への支援を強調。他の3人は「国際戦略総合特区」、「企業の本社をつくばに移転」、「つくばポテンシャルの整備と活用」などをあげました。

2 中学卒業まで医療費無料・国保税引き下げ  
ムダづかいやめ、税金の使い方を変える

公開討論では、「誰もが住みやすい魅力あるつくば」がテーマになり、それぞれが子育て支援、介護、格差是正などについて発言。山中さんは、「つくば市の財政力は県内4位。ムダ使いをなくし、税金の使い方を変えれば福

祉の充実がはかれる」と述べました。これに対する市原氏は、「現在は39億円の基金があるが、以前は2千万円しかなかったことがある」とのべ、値上げや補助金カットの正当性を主張しました。

1 原発・消費税増税・TPP参加  
国の悪政とたたかい市民を守る

公開討論では、最初に取り組む重要政策について山中さんは、①原発ゼロを宣言し、除染と健康調査を実施して、子どもたちが安心して遊べるつくば市を取り戻すことを最優先

先課題にあげました。他の3人は原発には触れず、「市役所改革」、「子育て支援」、「オーブンな政治」などを第1優先政策にあげました。

切り換ええます

今のつくば市政

山中さんは現市政の問題点を批判しました

冷たい

- 民地除染や健康調査をいまだに実施していない。
- 下水道料金、幼稚園授業料の値上げ、都市計画税導入、高い水道料金・国保税、「市民に重税感」。
- お年寄りの緊急通報システムの有料化。

ムダづかい・利権

- つくば駅前の用地取得(5億円)、民間企業に貸し出す。市のやる仕事ではない。
- 17億円かける給食センター、市民の願いは自校方式。
- 公共事業をめぐる黒い噂。

国・県いいなり

- 原発ゼロ、消費税増税やTPP参加に反対と言えない

10日、つくばカピオで市長選挙にともなう公開討論会が行われ、山中たい子(前日本共産党県議)、桜井よう子(元自民党県議)、市原健一(元自民党県議)、五十嵐立青(前民主党市議)の4人の予定候補者が参加。市長選の争点、各予定候補の違いがくつきりしてきました。